

満空車情報の提供やFeliCa決済・遠隔監視を実現 「タイムズ」の駐車場情報システム

今回は、パーク24 (株)が提供する時間貸駐車場「タイムズ」にNTTドコモの「DoPa」を通信インフラとして活用することで実現した、様々なITサービスの具体例を紹介する。

DoPaの活用により 駐車場システムを高機能化

パーク24は、時間貸駐車場のリーディングカンパニーとして、黄色い看板の駐車場「タイムズ」を全国約5300カ所、約8万5千台展開している。他業種と同様、時間貸駐車場も利用者の支持を得るために様々なサービスを提供できるような高付加価値を持った駐車場が求められている。そこでパーク24は、NTTドコモのポケット通信サービス「DoPa」を通信インフラに活用し、タイムズの所在地情報や満空車情報を提供し、予約、クレジットカード決済やポイントカードシステムなど、ITにより様々なサービスを高度化し展開していくことで、利用者の利便性を向上させ、駐車場サービスとしての魅力を高めている(図1参照)。

タイムズは、立地条件や駐車台数規模がすべて違うため標準化が難しく、柔軟性ある伝送システムが求められており、回線も有線ではなく無線

回線であることが前提条件となっていた。また、ネットワーク化を計画し始めた当初から、クレジット決済やポイントカードシステムを導入しようという構想があり、セキュリティの確保と

IPアドレスの固定化も重要なポイントであった。パーク24は、これらすべての条件を満たした無線系通信インフラの中で、技術面から見てDoPaが最適であると判断したという。

地図データと連携して Web上で満空車情報を提供

タイムズは様々な位置にあるため、多くのドライバーにその所在地を認知してもらうための所在地情報を提供することが大事だが、同時に、駐車場が実際に使えるかどうかの満空車情報を利用者がリアルタイムで把握できる必要性も高い。タイムズはこれら2つの機能をITを活用することで可能にしている。一体どのような仕組みで実現しているのだろうか。

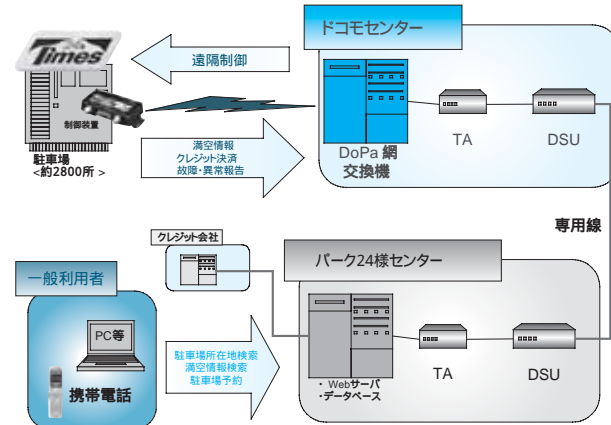


図1 「DoPa LAN」を活用したシステムのイメージ

タイムズに設置されている精算機は駐車時間だけではなく、それぞれの駐車スペースが「使用中」か「未使用」かを識別しており、DoPaで利用状況の変化を本社の駐車場管理サーバに送信する。管理サーバ側では送られてきたデータを集約し、直近の満空車情報を反映させたWebページを5分毎に自動更新している。

満空車情報はiモード対応携帯電話やパソコン、カーナビなどから確認できる。例えばiモードサイトでは、タイムズの混雑具合を「(空車)」「(混雑)」「×(満車)」で表示し、所在地は㈱ゼンリンが提供している地図情報システムから送られる地図データ上に「」で示し、携帯電話画面でも満空車情報やタイムズの所在地が一目でわかるようにしている(図2参照)。

また、時間貸駐車場の予約サービスも北海道札幌市のタイムズステーション札幌S4-6で導入し始めている。あらかじめ会員登録をした利用者が、iモード対応携帯電話やパソコンから、特定の入場予定時間を指定すれば、入庫することができる。

代々木の駐車場に 様々な新サービスを試験的導入

本年10月から、NTTドコモ代々木ビルの隣接地にパーク24が提供する51台のタイムズが開設される。この駐車場はNTTドコモの技術支援により、様々な高機能サービスを試験的に導入し、便利で先進性のある駐車場を目指している。

例えば、従来の現金及びクレジットカードでの支払いに対応した精算機に加えて、携帯電話のFeliCa (Edy) 決済を利用したサービスがある。利用者が、FeliCa対応携帯電話を精算機にかざすだけで自動的に決済できる。駐車場内にはFeliCa対応の自動販売機も用意されている。

また、「M-Stage Vライブ」のライブ映像配信機能を利用して、駐車場のリアルタイム映像をFOMA TV電話から視聴できるサービスも用意されている。Webブラウザからクリックするだけで駐車場内の任意の映像をすばやく見ることができる(図3参照)。このサービスにより、駐車場利用者は満空車状況を確認でき、駐車中の自車両の様子を確認できる。管理者も駐車場内の状況監視

が可能となるので、保守メンテナンスや遠隔操作に役立つ。

これらのサービスの他にも、パーク24は自動車料金収受サービス(ETC)や、赤外線通信機能を利用したクレジットカード決済サービス「VISAッピ」と連動した駐車料金の決済を試験的に導入している。

このように現段階で実現しているサービスに加えて、時間貸駐車場のさらなるIT化と利便性の向上を図るために、様々なアイデアを基に今後は、自動車と駐車場、さらに近隣の店舗や百貨店などを含めた、決済や監視管理などをITでどのように連携させていくかがポイントとな



図2 満空車情報サービスの画面遷移図

Copyright ©1999-2004 ZENRIN CO.,LTD.(Z04A-第1105号)

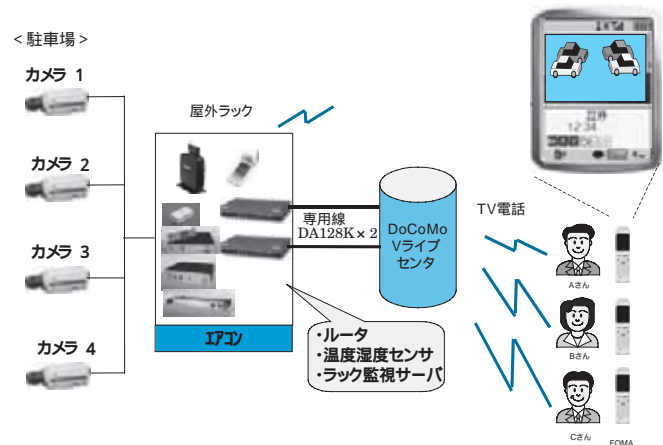


図3 Vライブを利用したFOMA TV電話遠隔監視システム

る。パーク24でも、世の中のスタンダードが何になるかを模索している段階であり、世間に普及している携帯電話に、どのようなアプリケーションがコモディティ化するかを見極めようとしている。

お問い合わせ先

DoCoMo Business Online
http://www.docomo.biz/034